

## 道央ブロック選手アンケート集計

サンプル数 30

- ① 3.6mコートサイズについて
- ・賛成 : 27
  - ・反対 : 3 ※他の条件付き
- ② センターシェルター90cm
- ・賛成 : 3
  - ・反対 : 8
  - ・やってみないとわからない : 19
- ③ センターシェルター90cmにする理由  
[＝スタート時のセンターシェルターでの混戦（いわゆるガチンコ）の回避]
- ・賛成 : 4
  - ・反対 : 11
  - ・やってみないとわからない : 14
- ④ センターSを90cmにすること「ガチンコ」が無くなると思いますか。
- ・思う : 6
  - ・思わない : 9
  - ・やってみないとわからない : 14
- ⑥ 1 シェルを外側へ1m移動することについて  
[＝センターシェルターが90cmになることでセンターの選手が当たりやすくなる為]
- ・賛成 : 6
  - ・反対 : 6
  - ・やってみなければわからない : 17
- ⑧ 「アウトではないこと」セーフコール導入で明確に。について
- ・賛成 : 24
  - ・反対 : 1
  - ・やってみないとわからない : 5
- ⑩ フライイング行為は選手がアウトとなる
- ・賛成 : 27
  - ・反対 : 3
- ⑪ 中断時の再開スタートは 雪球の持ち直しも可とする。両チームとも1人1球以下。
- ・賛成 : 25
  - ・反対 : 3
  - ※無しその他 : 2

## ⑤ センターS90 cmにすることについての意見

- ・180cm のままで ガチンコがなくなる方法を考えてはどうか？ 1セット相互制や、スタート球 1球制限 など

一番、自然な瞬間がなくなる事が一番なのかな？  
良くする為に、他の方法も考えるべきと考えます。

まず試合をするのが遅くなるのか。審判なのか。そこをちゃんと考えたい。審判も見えないから  
シェルも90cmにあるだけ。大きい。見えないから見る方法も考える。スタート後30秒位、主審と対面に  
2人位補佐もつければ。まずはそこがセーブに役立つ。ガチンコは雪合戦の魅力の一つ。相手は覚悟が  
行く場合もある。それと作戦がつく。また、180cmのセンターもつかまの華麗なディフェンスも見えなくなる  
と思う。

ガチンコは雪合戦の魅力の一つだと思います。

審判の技術の向上や、配置転換が必要だと思います。

完全に2トップフォーメーションを否定するもので、攻撃の選択肢を限定させるのは如何な  
ものかと考える。色々な攻撃のパターンがあって、見ていて面白い競技であるにもかかわらず  
単純に審判が判定できないからといった理由での変更は、認めることが断じて許されるもので  
はない。

センターシェルターを取った選手がアウトになりやすい。

みすみすアウトになるためにセンターを取りに行く者は誰もいない。

引きのゲーム展開になりやすく、見ていてつまらない。

最低135cm巾は必要だと思われる。(2トップが出来なくても、ある程度雪球をかわす  
スペースが確保出来るので。)

センターシェルターを取った選手がアウトになりやすい(実地検証にても実証済み)⇒逃げる  
スペースが無い為、それによって、お互いセンターを取らない見合い状態が発生する恐れが生  
じ試合がつまらなくなる。又、センターシェルター巾が狭く成る事により、ガチンコ時、相手  
に球を当てやすくなるので、審判目線からすると、アウト判定が難しくなる。  
選手目線からすると、攻撃の選択肢を限定され(2トップができない)面白さが半減される。

・36mサイズについては、札幌オープンで実施していた経緯もあり、問題ないと思  
える。ゲーム性は向上すると思われる。

・センターSを90cmにすることにより、「ガチンコ」は無くなると思うが、セ  
ンターを取りに来るチームが減り、ゲーム性が減少する可能性がある。また、あわ  
せて1シェルをずらすと、相手の2シェルとの角度がなくなり、1シェルが有利と  
なる可能性が高く、なおさらセンターを取りに来るチームが減少する可能性がある  
ことから、やってみないとわからない部分が多い。

センターをとるのが難しくなるため、選手は守り入り、試合が硬直するということは有りませんか。

センターが大きいことで2トップが生まれ、雪合戦の戦術に幅が出来、それがチームカラーにもなり、雪合戦  
の魅力の一つだと思っている。戦術が狭まるということは、同じような試合展開が増え、見ている側としてつま  
らなくなれないか心配です。また、技術(精度やスピード)を戦術でカバーするという競技としての面白みも減  
ってしまうような気がします。

センターガチンコを無くしたいのは理解できますが、2トップという戦術を無くすことで  
競技自体の幅を狭めてしまうような変更はして欲しくありません。

\_\_ガチンコの有無はともかくとしても、チームの戦術や特色が出なくなり、スポーツとして幅が狭くなるように思います。

「ガチンコ」を無くす必要はなく、ガチンコに対応できるよう審判の質を向上すればいいという思いもあるが、出場チームの選手（ほぼ審判未経験の者を含む）が交代で審判を行うという運営方法を考慮すると、「ガチンコ」を無くす方向でルール改正するのは、仕方がないと思う。

雪合戦の基本的な布陣は、現行ルールにおいて2トップ、1トップ、トップなしの3つしかない。センターシェルダーを半分にすると、1トップとトップなしの2つしか基本布陣がないことになる。これは雪合戦の戦術を著しく制限することになり、競技の面白みを著しく損なうことになると思う。どのような過程を経てこの結論に至ったのか不明だが、③の理由でルール改正するとしても、センターシェルダーを小さくする前にはまだあると思う。

\_\_やってみないとわからないことが多いと思うが、「ガチンコ」回避なら、スタートからある一定の時間はセンターに入るのを禁止するとか、スタート時の持ち球の数を2球から1球にするとか、方法はあると思います。センターの90cmが臨場感ある、見ていて迫力のあるものであればいいのですが…。

ガチンコ回避を考えた審判目線のルール改正にしか思えない。互いが1シェル同士に張り付くこととなり、試合が動きにくく、スポーツとしてつまらなくなると思う。特に女子も同じルールで試合を行うのであれば、肩のないチームは全く勝てなくなると思う。

\_\_同じようなプレイスタイルとなり 面白みに欠けるような気がする。\_\_\_\_\_

センターシェルダーを90cmにすると、現在でさえリスクとトントンなのに、センターを取るメリットがさらに低下すると思います。センターは敵から広い角度で攻撃を受けることになりますので、即死は免れません。やってみないと分かりませんが、もし仮にガチンコが減ったとしても、戦略性が低下し、試合の膠着化につながるのではないかと予想しています。

この競技の本質が変わるほど大きな問題だと思います。一度変えるとすぐには戻せないでしょうし、頻繁に変更すべきではないと思うので、慎重に判断すべきと考えます。その上で皆が納得できるよう、しっかりした説明をしていただきたいです。

90cm・・・アウトにされ易い →ガチンコ激減 →引いて戦う →試合が盛り上がらない →雪合戦の発展に悪影響 という構図が思い浮かびます。

センターを取るメリットが存在する限り、ガチンコは回避不能だと思います。しかし、そのメリットが無くなれば引いて戦うこととなり、ループの少ないストレート中心の試合展開となるでしょう。そうすると、戦略の幅が狭くなり、観戦しているギャラリーもつまらないと感じるのではないのでしょうか。また、肩が強いチームしか勝ち上がれなくなることも懸念されます。

極端な変更はバランスが大きく崩れる要因となりますので、例えば120cm（2/3）とした場合、多少はアウトにされにくく、ガチンコも減り、試合の醍醐味も保てるのではないのでしょうか。さらに1シェルを外側へ移動しなくても済むと思います。この辺は実際に試してみないと見えてこないかもしれません。135cm（3/4）等の選択肢も考えられます。

(ア) 2センターがなくなり戦術が狭くなりチームの色がなくなり反対

(イ) センターは一人しかスタート時にはいけない形にしたらどうでしょうか？

(ウ) 90cmは狭すぎて花であるセンターでの攻防がなくなってしまう。

(エ) センタータイプ・セカンドタイプといろんなタイプがいるからこそ楽しいのに「ガチンコ」をなくすため、誤審をなくすための理由で90cmにする理由はない。

\_\_それなりの大会で試合数を重ねてみないと判断できないと思います。試してみるのには賛成です。

④のがチンコは、&はほなるなにかい、2対2の  
様を複雑さはなくなると考える。  
審判、観客も判断つき易くなる。

戦い方が変わるので面白い取り組み(やる価値はある)  
だと思う。

センターの選手が被弾しやすくなるので、ガチンコは減ると思う。

ガチンコ防止の一助にはなるかと思いますが、センター確保が身上のチーム同士の対戦となれば、  
ガチンコは起こると思います。若干ジャッジしやすくなるかもしれませんが。

## ⑥1 シェルを外側へ1m移動することについて

⑦ ⑥についてのご意見

審判に対して、観客に対して、安全が<sup>対策</sup>必要になってくると思う。

これについては、センターシェルターの件がよめよめからよめよめへ、今回のルール変更は  
変更が及ぶよ、この年は1回のルール改正で1回はこんなに多くあるよ毎年思っているよ  
変えるとか やつはほうかい。

今までは、左投げ有利、1mサイドライン側に移動で、左投げでのサイドからセンタへの  
ストレートは、1シェルターの左側に体をはみ出して投球しなければならず、相手2シェル  
からも攻撃されやすくなる事で、右投げ、左投げの有利・不利が少しは解消されると思う。  
又、サイドライン側に移動する事によって、主審と主審向いの副審のジャッジ範囲が若干狭く  
なる事で見落としの解消に繋がると思う。

今までは、左投げ有利の配置、1m外に移動する事で、センターシェルターに対してストレ  
ートを投げる場合鋭角での投球になり、1シェルター左側に体をはみ出しての投球となる事から  
相手2シェルから狙われやすくなる。又センターシェルターと1シェルターの離れが現況の  
20cmから165cmとなり、右投げでもセンターを狙いやすくなり、左投げ有利の解消と  
なりうる。

・賛成(但し、あくまでもセンターシェルターが90cmになった場合のみ)

この点はセンターシェルターが90cmになることが前提ですが、当たりやすさを回避することができる  
のであれば、攻撃する側の技術が必要になるので、賛成です。

1シェルを外側へ移動することによって、センターシェルから1シェルへの距離は長くなったが、その代わり、  
センターシェルに入った選手から見ると、相手1シェルから投げられる雪玉が、(相手1シェルが左投げだと特  
に)横から来る感じになる。しかし、相手1シェルの逆側に寄ってしまうと、相手2シェルの射程に入ってしまう  
う。そのため、センターシェルに入る選手の生存率がかえって下がる気がする。

やってみなければわからないが、1 シェルからの角度がより大きくなれば、より当たりやすくなるのでは、と思われる。当たらずにするならば1M 内側に移動、ではないだろうか？

一度試してみましょう

センターシェルター案が反対の為自動的に反対です。基本的にシェルターの位置をずらすことは反対です。

審判の見る範囲が広角になるが センター付近の攻防が活性化してよいかも

1 シェルが角度的にさらに外にずれることで、センターシェルターのリスクが上がるのでは？それなら 50cm 程度後ろに下げてはどうでしょうか。

根本的に雪合戦が変わってしまう気がして賛成できません。

⑥についてのご意見

FW 中位のプレー から、チーム全体のプレー になる。

⑥についてのご意見

対峙する1シェルとの角度が広がるため、センターは余計  
当たりやすくなると思う。 ~~また~~ センターと1シェルの間が空く  
ことでセンターにつめるリスクが上がり、慎重になり、スピード感が  
失われる(試合が間延びする)恐れがある。

\_\_シェルター間の幅が出来る為、ロブよりも直球への依存が強くなり、シェルターにいる選手は個々の能力(肩の強さ)がより求められるようになると思う。 → 雪合戦未体験者(野球未経験者)からすると、雪合戦の敷居が高くなると思う。

ロブによる攻撃、またロブによるセット攻撃等の威力が弱くなると思う。 \_\_③90cm と合わせて考えると、③だけで良かったと思う。

センター選手を生かし易くするための1シェル移動は必要は無いと思います。センターはアウトのリスクが高い方が、試合が動きやすく面白い。また、センターに入るリスクを下げてしまう(つまり生き易くする)ことは、センター奪い合い(ガチンコ)の激化を呼び戻すような気がします。

## ⑧ セーフコールの導入について

聞き間違いなどでゲームの進行がスムーズでなくなることは考えられませんか。

わかりやすくして良いと思う。

やらない理由は無いけど、定める必要も無いのではないかと。審判講習などで、選手から求められた場合やきわどいプレーに対してはセーフコールをするように要請すれば良いのでは？明確に規則等で定めると、選手と揉めることにならないだろうか？審判がやらなかったからとか。

\_\_審判の技術をまだまだ向上させてからでなければ、複数のコールをすることは混乱を招く可能性があると思います。これまで同様に、きわどいプレーや選手自身が迷って審判を見た時などに、知らせてあげる方法が適当だと思います。

現在は、審判二人の内、片方がコールせずもう片方がアウトコールをした場合は、アウトコールを行った審判に従うこととなっているが、片方がセーフコール、もう片方がアウトコールを行った場合、どちらに従えばいいのかわからない。

試合中の混乱を避けるためにも、審判がはっきりコールすることが今以上に求められると思う。

ゲーム中の選手にはあまり意味はないと思うが、対観客へのちゃんとジャッジはしているというPRにはなると思う。

審判がきちんと見ているということを観客にも理解してもらえと思う。(合わせてシェルターに当たっていたのであれば「シェルター」と言葉を発しても良いと思う。

・審判がしっかりと判定をしていることが伝わるので良いと思う。

・自分も主審をやる際には、最近、セーフコールを言う用に使っていますが、言ってくれるとはっきりしてやりやすいです。

他の審判により判定が覆ることもあるので、アウトコールをかけた審判による取り消しのゼスチャー等もあれば良いと思います

・アウトなのに居座る選手もいれば、ワンバウンド等でセーフなのに自主的にコート外へ出る潔い選手もいます。近くの選手のアウトコールを自分だと勘違いしてしまう不運なケースもあります。セーフコールの導入により不公平をなくすことができ、不正行為も減ると思います。

絶対必要。

賛成だが、セーフコール待ちで外に存在、選手が増えると思うのでやはり審判の数が  
必要!! 毎試合相互審判で、3~5人両チームから残るものあれば審判の数不足が  
減るのでは。

アウト、セーフが重複した場合にややこしくなる。

アウトの選手がセーフコール待ちで、コートから出ないケースが  
多  
ありそう。

セーフコール導入には大いに賛成いたします。審判の判定が絶対の現状において、いわゆる  
オーバーコールによる判定の訂正が認められる事は、1度に沢山の奮闘が飛び交う、特殊な競技  
性を考えた際に、ミスジャッジを減らす上でも、正確なジャッジを行う上でも有効な手段であ  
ると考えます。

かねてよりオーバーコールやセーフコールについて選手側より認める様、要望をしていた  
案件であり。セーフコールの採用は大賛成である。しかし、その際の審判の向き（見る方向）  
については、当然の事ながら、前向きでのジャッジである事が大前提であります。

実際には、「セーフ」という言葉を発するのではなく「シェルター」とか「ワンバウンド」といったコールであるべきと考える。[オーバーコール]の考え方もあるが、その場合後のコールが優先されてゆく為、オーバーコールに対するオーバーコールだとか、誤ったオーバーコールが最終判定になる恐れも生じ、判定の複雑化をまねく事に繋がりがねないので[オーバーコール]言葉は使用しない方が良い。したがって[セーフコール]は「シェルター」・「ワンバウンド」のコールと同時に手を水平に振るセーフジャッジを併用する事で対応するものです。

⑧についてのご意見  
コール指示が明確になる。

基本的には賛成だが、アウトコールを優先するのか、セーフコールを優先するのか明確にしておく必要があると思う。アウトかセーフかで、審判同士が揉めた場合、スピーディーな雪合戦の試合に置いて致命傷となる恐れがある。また、あまりジャッジが複雑になりすぎてもダメだと思う。――

個人的にも既にジャッジに取り入れています。次の課題は、対面など、複数の審判が同時にアウトとセーフをコール（またはジェスチャー）した場合の取り扱いかと思います。現状は、一つでもアウトコールがあればそれが正かと思います。（セーフが無い従来のジャッジ方針に則り）セーフコールを正式に取り入れることは大賛成なのですが、セーフコールの影響（コールされたアウトを覆せるのかどうか）についても整理が必要かと考えます。――

## ●その他のコメント

### ○36mコートについて(反対の理由)

36mコートにすること自体は賛成ですが、道央とバックライン、2シェルの位置が違い、やる意味があるのか分からない。バックラインが近いから逃げ役が光るし、2シェルが近いから攻撃の幅も出る。  
バックを2m前に出しても、バックスが玉送りが楽なだけで、何ら40mコートと変わらないのでは？

### コートサイズについて

36メートルコートに統一することには賛成ですが、バックスのエリアを狭くするだけの変更であれば意味がないと思います。

#### 36mコートサイズについて

- ・反対（36Mにするなら現行ルール of 36M を支持する。）

フライング行為は選手がアウトとなる

- ・賛成（現行のルールは厳しすぎる。「動作を開始」も曖昧すぎると思うが。）

中断時の再開スタートは 雪球の持ち直しも可とする。両チームとも1人1球以下。

- ・反対（細かい点が分からないので反対。2球以上持っていたらその場に置くの？）

ガチンコ対案が必要であれば、

- ・2対2以上のダンクを禁止するためにシェルター周辺へ侵入できる人数を制限する。（シェルターをある程度の大きさの四角形で囲み、その中に入れる員数を制限する）
- ・あくまでもスタートのみにこだわるのであればセンターラインと1シェルの間にもう1本線を引き、その線を越えられる人数を一定時間制限する。ということをここ数年考えています。センターシェルターを小さくすることは断固反対です。選手ならばみんな同じではないですかね。要するに「面白くなくなる」。 よろしく願います。

中断時の再開スタートは 雪球の持ち直しも可とする。両チームとも1人1球以下。

・反対 ←球を持っていないチームによる意図的な中断行為は懸念されませんか？

2球以上持っていた場合は、そのままが良いのか、1球以下に減らすのか、どちらでしょう？

そのままが良いなら「賛成」、減らすなら「反対」です。

また、減らす場合は、下に置く等の方法を明確にしておかないと混乱を招くと思います。

「全国から昭和新山国際雪合戦に参加されるチームのような高い競技レベルや、将来的な普及を考えると、早急に、少しでも公正でわかりやすい競技とするための改善を加えたルールを制定する必要がある」ホームページに記載がありますが、公正でわかりやすい、とはいったい誰に対してなのでしょう。私には審判をする人にとってとしか思えません。はたしてそれが公正なのでしょう。私は雪合戦のプレイヤーでもあり、いちファンでもあります。ツートップスタイルがもう見れなくなるのは単純に寂しいと思いますし、また今まで努力を重ねて積み上げてきたプレースタイルが、コートそのものが変わるにより、無くなってしまうのはいかなものなのでしょう。愚痴ばかりで大変恐縮ですが、一つの意見として聞いてほしいと思います。

北海道雪合戦連盟道央ブロック 御中

いつも大変お世話になっております。

雪合戦チーム「奈緒ちゃん」の代表をしております、〇と申します。

今回提示されましたルール改正につきまして、当チームの意見をお送りします。

なお、7名から回答を得ましたので、全てを回答させていただきます。

私個人の意見としては、現在のルールは戦術の幅があり、場合によっては「下克上」も

可能な良い仕組みだと思っています。

この良さを損なわない改正となることを希望しています。

以上、よろしくお願いいたします。

道央ブロックルール改定担当者様

大会運営及びルールの検討お疲れ様です。無い頭を振り絞って考えましたのでよろ

しくお願いします。

新しい取り組みが進み、雪合戦がより多くの人が参加するウィンタースポーツの場

となる事を願っています。

【送信者】炎のむち打ち同好会 代表

■以上、選手の声:資料として提出します。ルール審判専門委員会の検証内容がすべて情報伝達されていない経緯もあり、根本的な視点でこれまでと重複している意見もあります。実質、現実的にすべて選手の意見を聞いて進める事は困難だと思います。案に対しての関心のある選手から届いた、率直な声として参考にしていただければと思います。集約せずに連記させていただきました。また、今後も10月の検証をした上での声も聴いて参りたいと思います。